

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		へき地保育所運営事業		グループ・担当名	児童支援グループ業務担当		
				評価者名	民生部長 高崎 利明		
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			予算科目	款	03 民生費
	施策(大)	04 子育て支援の充実				項	02 児童福祉費
	施策(中)	03 保育園(所)の充実				目	03 へき地保育所費
	施策(小)	01 特別保育を含めた保育園(所)の充実				大事業	01 へき地保育所管理運営事
事業期間	単年度						
要求区分	継続		マニフェスト	-			
根拠法令等					経費区分	政策的経費	
事業概要	地域において保育を必要とする児童に対して保護者に代わって養護と保育をし、次世代を担う児童の健全育成、資質の向上を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援する。						
事業目的	地域において安心・安全な環境での保育を行うことにより、保護者が就労と子育ての両立ができる保育サービスを提供する。						
事業の対象	保育を必要とする児童及び保護者						
実施結果	【実施結果】 へき地保育所3箇所で開催した。						
現状と課題	【現状と課題】 通所児童数が2年続けて10人を下回る場合は休所の検討を行わなければならない、福住保育所ではH30～31の2年間で10人を下回る見込みであり、休所の可能性が高い。						
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容			

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	26,686	27,938	33,264	27,104	30,310	30,090
国支出金	3,399	7,455	5,747	6,974	3,485	6,986
道支出金	1,699	3,778	2,873	3,487	1,742	3,338
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	4,344	3,814	3,910	3,069	3,204	2,000
一般財源	17,244	12,891	20,734	13,574	21,879	17,766
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	26,686	27,938	33,264	27,104	30,310	30,090

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	保育所受入率	目標	%		100	100	100	100
		実績	%	100	100	100		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点		評価	理由				
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。		妥当	町内に担える団体等がないため妥当である。				
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。		普通	保護者の希望通り受け入れている。				
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。		高い	児童の健全育成、資質向上のため必要であり、児童数に応じて適正に運営している。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 へき地保育所3箇所で開催する。				評価結果		
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状での運営が図られているため。		予算反映額 (概算)	0千円		現状維持	
今後の改善点	障がい児対応や支援を必要とする児に対しては、補助保育士を雇用して対応する。保育士の専門的な研修を受講させる。福住保育所の休所について検討する。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		コミュニティセンター維持管理事業		グループ・担当名	児童支援グループ業務担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		予算科目	款	03 民生費
	施策(大)	04 子育て支援の充実			項	01 社会福祉費
	施策(中)	04 学童保育の充実			目	02 社会福祉施設費
	施策(小)	02 児童センターの充実			大事業	01 コミュニティセンター維
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	町民及び団体等に利用されているコミュニティセンターの施設環境を整備する。					
事業目的	町民の地域活動を促進し、文化的な社会の形成を図るとともに、福祉の増進を図る。					
事業の対象	コミュニティセンターを利用する全町民					
実施結果	【実施結果】 消防設備等の修繕を実施した。					
現状と課題	【現状と課題】 施設・設備の老朽化					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	14,582	14,092	14,567	14,674	14,140	14,140
国支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	1,070	1,043	988	1,039	969	1,000
一般財源	13,512	13,049	13,579	13,635	13,171	13,140
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	14,582	14,092	14,567	14,674	14,140	14,140

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	施設による事故発生件数	目標	件			0	0	0
		実績	件	0	0	0		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	施設・設備が老朽化しているため妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	事故が発生しなかったため。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	必要最低限の修繕で事故が発生していない。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 コミュニティセンター施設を必要に応じて修繕・改修工事等を実施し、利用者が安心して利用できるよう環境整備を図る。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 必要最低限の修繕にとどめている。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	利用者及び児童センターのための環境整備を図る。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		学童保育所設置事業		グループ・担当名	児童支援グループ業務担当		
				評価者名	民生部長 高崎 利明		
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			予算科目	款	03 民生費
	施策(大)	04 子育て支援の充実				項	02 児童福祉費
	施策(中)	04 学童保育の充実				目	01 児童福祉総務費
	施策(小)	01 学童保育所の充実				大事業	03 学童保育所運営事業
事業期間	単年度						
要求区分	継続		マニフェスト	-			
根拠法令等	子ども・子育て支援法、児童福祉法				経費区分	政策的経費	
事業概要	保護者の稼働、疾病、その他の事情により放課後留守家庭等となる学童の健全育成と福祉増進を図る。						
事業目的	児童の健全育成と福祉増進を図る。						
事業の対象	小学校1年生から3年生までの保育を必要とする児童						
実施結果	【実施結果】 学童保育所3箇所を実施した。						
現状と課題	【現状と課題】 入所児童の学年拡大が課題であり、拡大の方法を検討、協議している。						
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容			

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	29,487	31,411	32,339	31,076	32,885	47,181
国支出金	6,677	5,467	5,371	5,822	5,803	5,673
道支出金	9,964	5,467	5,371	5,822	5,803	5,673
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	6,085	6,100	7,147	6,442	6,317	6,970
一般財源	6,761	14,377	14,450	12,990	14,962	28,865
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	29,487	31,411	32,339	31,076	32,885	47,181

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	学童保育所受入率	目標	%		100	100	100	100
		実績	%	100	100	100		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町内に担える団体等がないため妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	保護者の希望通り受け入れている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	児童の健全育成、福祉向上のため必要であり、児童数に応じて適正に運営している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 学童保育所3箇所運営する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状での運営が図られているため。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	発達の遅れや障がい有する児童に対し、補助指導員を雇用する。 受入学年の拡大を検討・協議する。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		児童センター運営事業		グループ・担当名	児童支援グループ業務担当		
				評価者名	民生部長 高崎 利明		
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			予算科目	款	03 民生費
	施策(大)	04 子育て支援の充実				項	02 児童福祉費
	施策(中)	04 学童保育の充実				目	01 児童福祉総務費
	施策(小)	02 児童センターの充実				大事業	06 児童センター運営事業
事業期間	単年度						
要求区分	継続		マニフェスト	-			
根拠法令等	児童福祉法				経費区分	政策的経費	
事業概要	児童館機能を有する子どもたちの集う拠点施設として、健全な遊びを通して児童の集団及び個別指導の実施並びに体力増進指導により、社会性を伸ばし心と身体の健康作りを図る。						
事業目的	子どもたちに健全な遊びの場を提供し、自主的な活動や遊び、センターで計画する行事への参加を通して、心身ともに豊かで健康的な子どもたちの育成を目指す。						
事業の対象	幼児（概ね3歳以上で保護者同伴）、小学生、中学生及びその保護者						
実施結果	【実施結果】 様々な屋内・屋外・交流活動を実施した。						
現状と課題	【現状と課題】 階段室の壁紙が老朽化により傷んでいるため、修繕を実施する。						
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容			

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	6,136	7,107	6,321	5,706	6,352	6,352
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	6,136	7,107	6,321	5,706	6,352	6,352
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	6,136	7,107	6,321	5,706	6,352	6,352

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	施設による事故発生件数	目標	件		0	0	0	0
		実績	件	0	0	0		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町内に担える団体等がないため妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	安全、快適な活動環境整備を行い、事故が発生しなかったため。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	必要最低限の修繕で事故が発生していない。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 子どもたちに健全な遊びの場を提供する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 必要最低限の修繕にとどめている。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	階段室の壁紙を修繕し、快適な活動環境の整備を図る。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		へき地保育所管理事業		グループ・担当名	児童支援グループ業務担当		
				評価者名	民生部長 高崎 利明		
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			予算科目	款	03 民生費
	施策(大)	04 子育て支援の充実				項	02 児童福祉費
	施策(中)	03 保育園(所)の充実				目	03 へき地保育所費
	施策(小)	01 特別保育を含めた保育園(所)の充実				大事業	01 へき地保育所管理運営事
事業期間	単年度						
要求区分	継続		マニフェスト	-			
根拠法令等					経費区分	政策的経費	
事業概要	地域において保育を必要とする児童に対して保護者に代わって養護と保育をし、次世代を担う児童の健全育成、資質の向上を図るとともに保護者の子育てと就労の両立を支援する。						
事業目的	地域において安心・安全な環境での保育を行うことにより、保護者が就労と子育ての両立ができる保育サービスを提供する。						
事業の対象	保育を必要とする児童及び保護者						
実施結果	【実施結果】 老朽化した遊具の修繕を行った。						
現状と課題	【現状と課題】 施設の老朽化						
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容			

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	3,147	4,388	4,669	4,296	3,630	3,630
国支出金	0	-	0	-	0	0
道支出金	0	-	0	-	0	0
地方債	0	-	0	-	0	0
その他	533	-	1	-	1	1
一般財源	2,614	4,388	4,668	4,296	3,629	3,629
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	3,147	4,388	4,669	4,296	3,630	3,630

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	施設による事故発生件数	目標	件			0	0	0
		実績	件	0	0	0		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	施設・設備が老朽化しているため妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	事故が発生しなかったため。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	必要最低限の修繕で事故が発生していない。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 安全、快適な環境での保育を行えるよう保育環境を整える。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 必要最低限の修繕にとどめている。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	施設の老朽化に伴い、補修、改修等を実施する。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		次世代育成支援推進事業		グループ・担当名	児童支援グループ業務担当		
				評価者名	民生部長 高崎 利明		
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			予算科目	款	03 民生費
	施策(大)	04 子育て支援の充実				項	02 児童福祉費
	施策(中)	01 次世代育成支援				目	01 児童福祉総務費
	施策(小)	01 子ども・子育て支援事業の推進				大事業	01 児童福祉事務
事業期間	単年度						
要求区分	継続		マニフェスト	-			
根拠法令等	子ども・子育て支援法等				経費区分	政策的経費	
事業概要	子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育てをめぐる現状と課題に対して社会全体による費用負担を行いながら、「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」「保育の量的拡大」「地域の子ども・子育て支援の充実」に向けた取組を推進していく。						
事業目的	安心して子育てができる環境にする。						
事業の対象	町内に居住の児童及び保護者						
実施結果	【実施結果】 子ども・子育て支援事業計画を推進しながら、計画の中間年であったため見直しを行った。						
現状と課題	【現状と課題】 見直しを行った現計画を推進し、平成32年度からの次期計画策定準備を進める。						
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容			

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	95,544	105,170	125,507	111,092	482,178	222,666
国支出金	30,010	34,041	43,014	35,521	241,471	87,712
道支出金	26,878	28,607	35,431	30,022	62,491	67,033
地方債	0	0	0	0	87,000	0
その他	0	793	0	0	0	0
一般財源	38,656	41,729	47,062	45,549	91,216	67,921
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	95,544	105,170	125,507	111,092	482,178	222,666

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	協議会開催回数	目標	回		1	2	2	4
		実績	回	1	1	2		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	子ども・子育て支援事業計画を推進しているため妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	必要な協議が実施できている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	国の制度に基づいているため適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 見直しを行った現計画及び民間幼稚園の意向を汲んだ事業の推進を図る。					評価結果	
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 ・一時預かり事業委託料の計上 ・子どものための教育・保育給付費負担金の増 ・認定こども園施設整備補助金及び保育所等整備補助			予算反映額 (概算)	356,451千円		拡充
今後の改善点	子ども・子育て支援新制度に基づいた認定子ども園等に対し、入園者分の施設型給付費を支払う。また、幼稚園型一時預かり事業を委託により行う。認定こども園美幌藤幼稚園の改築に対する補助金を交付する。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		民間保育園利用者補助事業		グループ・担当名	児童支援グループ業務担当		
				評価者名	民生部長 高崎 利明		
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			予算科目	款	03 民生費
	施策(大)	04 子育て支援の充実				項	02 児童福祉費
	施策(中)	03 保育園(所)の充実				目	01 児童福祉総務費
	施策(小)	03 0歳児保育・休日保育の推進				大事業	01 児童福祉事務
事業期間	単年度						
要求区分	継続		マニフェスト	-			
根拠法令等					経費区分	政策的経費	
事業概要	町で実施していない0歳児保育を行っている民間(NPO)保育所に対し、0歳~2歳児までの利用者には町保育料との差額を補助し、さらに新たに町が行っている多子軽減についても同様に取扱うこととして、補助の拡大を図っていく。						
事業目的	保護者の経済的負担の軽減						
事業の対象	民間(NPO)保育所に通園する児童の保護者						
実施結果	【実施結果】 従来の制度に加えて多子軽減を拡大し、補助金の交付を行った。						
現状と課題	【現状と課題】 制度の拡大に伴い補助金対象者が増加しており、町の負担が増えている。						
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容			

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	7,117	13,849	17,832	18,378	24,964	16,000
国支出金	0	-	-	-	0	-
道支出金	0	-	-	-	0	-
地方債	0	-	-	-	0	-
その他	117	-	-	-	0	-
一般財源	7,000	13,849	17,832	18,378	24,964	16,000
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	7,117	13,849	17,832	18,378	24,964	16,000

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	補助対象保育園数	目標	箇所		1	1	1	1
		実績	箇所	1	1	1		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町で実施していない0歳児保育を行っており、子育て支援のため妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	該当となる保育園は1園のみであり、対象となっている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	保護者の経済的負担の軽減が図られており、多子軽減については町の保育園同様の考え方であるため適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 保護者の経済的負担の軽減のため、補助金を交付する。					評価結果	
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 認可外保育所利用者補助金の増			予算反映額 (概算)	7,132千円		拡充
今後の改善点	認可外保育所利用者の増及び多子軽減制度の拡大による補助金の増加に対応するため、補助金予算を増額する。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		子ども発達支援センター運営事業		グループ・担当名	児童支援グループ子ども発達支援セ	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		予算科目	款	03 民生費
	施策(大)	03 障がい者福祉の充実			項	02 児童福祉費
	施策(中)	03 障がい者福祉施設の整備			目	01 児童福祉総務費
	施策(小)	02 子ども発達支援センターの充実			大事業	02 子ども発達支援センター
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	○		
根拠法令等	児童福祉法			経費区分	政策的経費	
事業概要	美幌町、津別町、大空町を圏域として運営する子ども発達支援センターは、児童福祉法に基づく指定障害児通所支援事業所であり、発達の遅れがある又は障がいを持つ幼児に対して、個々に合わせた療育を行うとともに関係機関との連携を図り育成を助長する。					
事業目的	心身に遅れや障がいを持つ幼児の発達の支援や保護者の育児不安を解消に導き、積極的に子育てができるよう支援する。					
事業の対象	心身に遅れや障がいを持つ幼児及び子どもの成長、発達に心配のある保護者。					
実施結果	【実施結果】 幼児の発達に合わせた療育や保護者支援を実施した。					
現状と課題	【現状と課題】 旧中央保育所を改修して施設を移転し療育室の確保は図られたが、保護者のニーズが増加しており、十分に対応できていない。					
事業進捗度	3 取り組んでいるが順調でない	進捗度3又は4の理由	人手不足	左の具体的な内容	指導員の不足により、利用者のニーズに対して最低限度のサービスしか提供できていない。	

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	14,209	13,890	14,698	18,324	19,195	20,958
国支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	1,563	851	324	434	497	332
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	12,572	12,781	12,310	12,668	14,783	16,149
一般財源	74	258	2,064	5,222	3,915	4,477
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	14,209	13,890	14,698	18,324	19,195	20,958

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	療育受入率	目標	%		100	100	100	
		実績	%	100	100	100		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町内に担える団体等がないため妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	保護者の希望により受け入れしている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	心身に遅れや障がいのある幼児の発達支援や、保護者の育児不安解消となっており、指導員が不している中で、最大限通所希望者					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 改修後の施設を有効に活用し、利用者のニーズに対応する。					評価結果	
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 通所児童数の増。			予算反映額 (概算)	3,667千円		拡充
今後の改善点	利用者のニーズが高まっているため、指導員の増強や新たな事業・指導方法を検討していく。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		幼児ことばの教室運営事業		グループ・担当名	児童支援グループ子ども発達支援セ	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		予算科目	款	03 民生費
	施策(大)	03 障がい者福祉の充実			項	02 児童福祉費
	施策(中)	03 障がい者福祉施設の整備			目	01 児童福祉総務費
	施策(小)	02 子ども発達支援センターの充実			大事業	04 幼児ことばの教室運営事
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	児童福祉法			経費区分	政策的経費	
事業概要	ことばや発達に遅れのある幼児に対し、発達課題に合わせた遊びや訓練により健全な発達を援助するほか、関係機関と連携を図り総合的な療育体制づくりを支援する。					
事業目的	ことばに遅れや障がいを持つ幼児の発達支援や保護者の育児不安を解消に導き、積極的に子育てができるよう支援する。					
事業の対象	ことばに遅れや障害を持つ幼児及び子どもの成長・発達に心配のある保護者					
実施結果	【実施結果】 幼児の発達に合わせた療育や保護者支援を実施する。					
現状と課題	【現状と課題】 通所希望者が増加傾向にある。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	9,000	8,805	9,004	8,928	7,029	7,026
国支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	1,064	964	887	672
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	78	206	552	0	0	0
一般財源	8,922	8,599	7,388	7,964	6,142	6,354
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	9,000	8,805	9,004	8,928	7,029	7,026

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	ことばの教室受入率	目標	%			100	100	100
		実績	%	100	100	100		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点		評価	理由				
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。		妥当	町内に担える団体等がないため妥当である。				
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。		普通	保護者の希望により受け入れしている。				
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。		高い	ことばや発達に遅れのある幼児の発達支援と保護者の育児不安解消となっており、通所希望者は増加傾向であるが、最大限通所希				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 ことばや発達に遅れのある幼児の保護者の育児不安を解消に導くため、幼児の発達に合わせた療育や保護者支援を行う。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状での運営が図られているため。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	通所児童や相談数は増加傾向にあるが、効率的な運営により受け入れを維持し、指導員の専門性を高めていく。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		子ども発達支援センター移転改修事業		グループ・担当名	児童支援グループ子ども発達支援セ	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	00		予算科目	款	03 民生費
	施策(大)	00			項	02 児童福祉費
	施策(中)	00			目	01 児童福祉総務費
	施策(小)	00			大事業	07 子ども発達支援センター
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	-
事業概要	美幌町、津別町、大空町を圏域として運営する子ども発達支援センターは、児童福祉法に基づく指定障がい児通所支援事業であり発達に遅れがある又は障がい有する幼児に対して、個々に合わせた療育を行うとともに関係機関との連携を図り育成を助長することを目的としているが、利用者の増に伴い平成28年度で休所となった中央保育所の改修工事を行い、発達支援センターを移転させ事業の充実を図る。					
事業目的	発達支援センターを移転するため。					
事業の対象	中央保育所					
実施結果	【実施結果】 改修工事を実施し、施設を移転した。					
現状と課題	【現状と課題】 移転後の施設で問題なく運営している。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	0	0	0	20,904	0	0
国支出金	-	-	-	0	0	0
道支出金	-	-	-	6,800	0	0
地方債	-	-	-	0	0	0
その他	-	-	-	0	0	0
一般財源	0	0	0	14,104	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	0	0	0	20,904	0	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	移転改修工事	目標				1		
		実績				1		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	通所希望者の増加に対応するため妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	移転後の施設で問題なく運営しているため有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	通所希望者の増加に対応できる施設に改修されたため適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ● 休止・廃止 改修工事が完了したため。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ● 皆減 改修工事が完了したため。			予算反映額 (概算)	0千円		休止・廃止
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		子育て支援センター運営事業		グループ・担当名	児童支援グループ子育て支援センタ	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		予算科目	款	03 民生費
	施策(大)	04 子育て支援の充実			項	02 児童福祉費
	施策(中)	02 子育てに関する相談・指導の充実			目	01 児童福祉総務費
	施策(小)	01 育児に関する相談体制の充実			大業	05 子育て支援センター運営
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	子ども・子育て支援法			経費区分	政策的経費	
事業概要	子育て家庭等に対する育児不安についての相談指導、子育てサークル等への支援、地域の保育資源の情報提供及び一時預かり等を実施することにより、地域の子育て家庭に対する育児支援を行うとともに、地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図る。					
事業目的	安心して子育てができる環境づくりを支援する。					
事業の対象	0歳児から就学児前の子どもと保護者					
実施結果・現状と課題	<p>【実施結果】 子育て家庭に遊びの場や出会いの場、話し合える場、相談の場を提供しながら仲間作りなど、子育てを楽しめるよう支援した。</p> <p>【現状と課題】 リピーター利用の方が多いが、新規ではリピーターとなる人数が少ない。 一時預かりでは年間通しての利用者が増えてきているが、保育士の確保が難しい。</p>					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	5,628	6,855	6,731	8,226	7,955	8,473
国支出金	4,231	908	1,315	1,172	900	877
道支出金	0	801	1,315	1,172	900	877
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	50	617	427	986	741	1,152
一般財源	1,347	4,529	3,674	4,896	5,414	5,567
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	5,628	6,855	6,731	8,226	7,955	8,473

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	一時預かり受入率	目標	%		100	100	100	
		実績	%	100	100	100		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	一時預かりは民間で実施している所もあるが、預かり先が限られているためセンターでの需要が高く、妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	預かりの希望が多く、子育て家庭の育児支援の一助となっている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	預かりの希望は多いが、極力希望通りの受け入れを行っているため、適正である。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 育児についての相談指導や情報提供、一時預かり等により安心して子育てができる環境づくりを支援する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状での運営が図られているため。			予算反映額 (概算)	0千円	現状維持	
今後の改善点	利用者のニーズに合った行事を増やす等により、新規利用者の拡大を図る。 一時預かり児童数が増加傾向にあるため、保育士の確保を図る。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		美幌保育園運営事業		グループ・担当名	児童支援グループ美幌保育園担当		
				評価者名	民生部長 高崎 利明		
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			予算科目	款	03 民生費
	施策(大)	04 子育て支援の充実				項	02 児童福祉費
	施策(中)	03 保育園(所)の充実				目	02 保育園費
	施策(小)	02 保育料軽減など子育て世代への支援				大業	01 美幌保育園管理運営事業
事業期間	単年度						
要求区分	継続		マニフェスト	-			
根拠法令等	児童福祉法				経費区分	政策的経費	
事業概要	児童福祉法に基づき保育を必要とする児童の養護と保育を行うと共に、保護者の子育てと就労の両立を支援する。美幌保育園の児童が、安全かつ快適に生活し、良好な保育を受けられるように、保育園施設環境を整える。						
事業目的	児童が安全でかつ快適に生活できる良好な環境を提供し、児童の心身の健康を保障する。また、保護者が安心して就労と子育ての両立ができる保育環境を提供する。						
事業の対象	保育を必要とする就学前の児童及び保護者。一時預かりを必要とする児童及び保護者。						
実施結果	【実施結果】 対象児童の安全を確保しながら、快適な保育環境に努めることができた。						
現状と課題	【現状と課題】 補助・代替保育士の不足。						
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容			

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	31,482	30,917	34,159	32,387	32,788	29,723
国支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	1,548	717	717
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	1,063	924	1,944	1,731	1,800	1,800
一般財源	30,419	29,993	32,215	29,108	30,271	27,206
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	31,482	30,917	34,159	32,387	32,788	29,723

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	保育園受入率	目標	%		100	100	100	
		実績	%	100	100	100		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町内に担える団体等がないため妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	保護者の希望に沿って受け入れしている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	児童の健全育成、資質向上のため必要であり、児童数に応じて適正に運営している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 安全かつ快適に園生活が送れるような保育を行い、保護者が安心して就労と子育ての両立ができる保育環境を提供する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状での運営が図られているため。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・補助・代替保育士の雇用を図る。 ・障がい児や支援を必要とする児に対しては、補助保育士を雇用して対応する。 							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		美幌保育園管理事業		グループ・担当名	児童支援グループ美幌保育園担当		
				評価者名	民生部長 高崎 利明		
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			予算科目	款	03 民生費
	施策(大)	04 子育て支援の充実				項	02 児童福祉費
	施策(中)	03 保育園(所)の充実				目	02 保育園費
	施策(小)	01 特別保育を含めた保育園(所)の充実				大事業	01 美幌保育園管理運営事業
事業期間	単年度						
要求区分	継続		マニフェスト	-			
根拠法令等	児童福祉法				経費区分	政策的経費	
事業概要	在園児等が安全かつ快適に生活し、良好な保育ができる保育園の施設環境を整備する。						
事業目的	在園児等が安全かつ快適に生活することができ、良好な環境を提供することにより子ども達の健やかな成長を育む。						
事業の対象	在園児及び一時預かり事業を利用する未就学児						
実施結果・現状と課題	<p>【実施結果】 保育園施設の補修、修繕を実施し、良好な保育環境を整えた。 ホール照明のLED化を実施した。</p> <p>【現状と課題】 電気暖房の液晶パネルが、老朽化により操作できない。 玄関の引戸が、自動的に閉まらなくなっている。</p>						
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容			

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	3,336	4,488	6,962	5,972	7,880	6,776
国支出金	0	-	-	-	0	-
道支出金	0	-	-	-	0	-
地方債	0	-	-	-	0	-
その他	364	-	-	-	0	-
一般財源	2,972	4,488	6,962	5,972	7,880	6,776
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	3,336	4,488	6,962	5,972	7,880	6,776

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	施設による事故発生件数	目標	件			0	0	0
		実績	件	0	0	0		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	施設・設備が老朽化しているため妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	事故が発生しなかったため。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	必要最低限の修繕で事故が発生していない。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 在園児等の保育を安全、快適に行えるよう保育施設環境を整える。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 必要最低限の修繕にとどめている。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	電気暖房液晶パネルを修繕する。 玄関内入口引き戸を修繕する。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		東陽保育園管理事業		グループ・担当名	児童支援グループ東陽保育園担当		
				評価者名	民生部長 高崎 利明		
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			予算科目	款	03 民生費
	施策(大)	04 子育て支援の充実				項	02 児童福祉費
	施策(中)	03 保育園(所)の充実				目	02 保育園費
	施策(小)	01 特別保育を含めた保育園(所)の充実				大事業	02 東陽保育園管理運営事業
事業期間	単年度						
要求区分	継続		マニフェスト	-			
根拠法令等	児童福祉法				経費区分	政策的経費	
事業概要	在園児等が安全かつ快適に生活し、良好な保育ができる保育園の施設環境を整備する。						
事業目的	在園児等が安全かつ快適に生活することができ、良好な保育を提供することにより子ども達の健やかな成長を育む。						
事業の対象	在園児及び一時預かり事業を利用する未就学児						
実施結果	【実施結果】 保育園施設の補修、修繕を実施し、良好な保育環境を整えた。						
現状と課題	【現状と課題】 施設の老朽化						
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容			

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	3,852	3,624	3,438	3,030	3,420	3,420
国支出金	0	-	-	-	0	0
道支出金	0	-	-	-	0	0
地方債	0	-	-	-	0	0
その他	530	-	-	-	0	0
一般財源	3,322	3,624	3,438	3,030	3,420	3,420
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	3,852	3,624	3,438	3,030	3,420	3,420

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	施設による事故発生件数	目標	件			0	0	0
		実績	件	0	0	0		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	施設・設備が老朽化しているため妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	事故が発生しなかったため。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	必要最低限の修繕で事故が発生していない。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 在園児等の保育を安全、快適に行えるよう保育施設環境を整える。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 必要最低限の修繕にとどめている。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	施設の老朽化に伴い、補修、改修等を実施する。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		東陽保育園運営事業		グループ・担当名	児童支援グループ東陽保育園担当		
				評価者名	民生部長 高崎 利明		
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			予算科目	款	03 民生費
	施策(大)	04 子育て支援の充実				項	02 児童福祉費
	施策(中)	03 保育園(所)の充実				目	02 保育園費
	施策(小)	01 特別保育を含めた保育園(所)の充実				大事業	02 東陽保育園管理運営事業
事業期間	単年度						
要求区分	継続		マニフェスト	-			
根拠法令等	児童福祉法				経費区分	政策的経費	
事業概要	児童福祉法に基づき保育を必要とする児童の養護と保育を行うと共に、保護者の子育てと就労の両立を支援する。東陽保育園の児童が、安全かつ快適に生活し、良好な保育を受けられるように保育環境を整える。						
事業目的	児童が安全でかつ快適に生活できる良好な環境を提供し、児童の心身の健康を保障する。また、保護者が安心して就労と子育ての両立ができる保育環境を提供する。						
事業の対象	保育を必要とする就学前の児童及び保護者。一時預かりを必要とする児童と保護者。						
実施結果	【実施結果】 常勤保育士が1名欠員していた時期もあったが、安全・快適な保育環境に努めることができた。						
現状と課題	【現状と課題】 常勤保育士の不足（1名欠員の状況あり）						
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容			

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	27,479	25,630	29,868	27,372	28,418	31,337
国支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	876	707	707
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	1,315	650	1,797	1,586	1,627	1,627
一般財源	26,164	24,980	28,071	24,910	26,084	29,003
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	27,479	25,630	29,868	27,372	28,418	31,337

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	保育園受入率	目標	%		100	100	100	
		実績	%	100	100	100		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町内に担える団体等がないため妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	保護者の希望に沿って受け入れしている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	児童の健全育成、資質向上のため必要であり、児童数に応じて適正に運営している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 安全かつ快適に園生活が送れるような保育を行い、保護者が安心して就労と子育ての両立ができる保育環境を提供する。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状での運営が図られているため。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	・常勤保育士の雇用を図る。 ・障がい児や支援を必要とする児に対しては、補助保育士を雇用して対応する。							